

# 子どもの声と地域性を生かした 小・中連携・一貫教育の現状と展望

～北海道稚内市の取り組みを通して～

古川 碧

---

## ●要約

本稿は、北海道稚内市における公立小中学校の実践研究を事例に、小中連携・一貫教育の望ましい進め方について考察することを目的とする。稚内市における実践研究の特徴は、第1に、児童生徒の実態から出発し、児童生徒の意識の変容に着目しながら進められていること。第2に、そのねらいを学力向上に特化することなく、生活力や社会性など、児童生徒の全面発達を保障する見地から取り組まれていること。第3に、学校と教育行政の共同事業として、地域性を生かしながら地域ぐるみで実践していることである。

こうした視点による連携教育こそ、校種間の段差を解消し、児童生徒の連続的な成長を促し保障する小中一貫教育の確かな土台となる。

## ●キーワード

中1ギャップ

児童生徒の意識変化

稚内市小中一貫教育実践研究事業